
パパの心中 ~運動会~

保科 郁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

パパの心中～運動会～

【Zコード】

Z8626C

【作者名】

保科 郁

【あらすじ】

子供の駆けっこを応援しているパパさんの心の中。ほのぼの?1
0月なので、テーマ運動会で書いてみました。

ぱあん！！

軽い発砲音が鳴り響くと、いつせいに幼い子供たちが走りだした。
その中で先頭に飛び出したのはもちろん我が息子、智也だ！！

よし、さすが智也！

そのままゴールまで走りぬけ！！

だがそぐせに別の影が 智也の横に割り込んできた。
あれは にしき八百屋の息子、秋良君あきらくんではないか。
隣を見れば、にやり…と口元をゆるめる八百屋。

くそっ！ 秋良君に負けるな智也…！ 頑張れ…！

そんな俺の応援も虚しく、徐々に追い抜かれしていく智也。
隣の八百屋はもう満面の笑みだ。

悔しさで歯噛みしたい気分になるが、今はそれよりも応援だ！
再びグラウンドに視線を戻すと、智也の行く先に石が…

危な…つ…？

俺が言葉を発するよりも早く、智也は派手に転んでしまった。

ぐつ……なんで あんな所に力が！ この学校は、グラウンドの整備もしていないのか…！ これで智也の勝利は…

いや、そんな事を考えている場合じゃない。智也は無事なのか…？

息子は泣くこともせず、自力で立ち上がるひつとしていた。
どうやら ひどい怪我とかはしていないようだ。

胸を撫で下ろした俺の耳に、ふつ……と鼻で笑う八百屋の声が聞こえた。

それはいかにも智也を馬鹿にした、とうくんこ 息子だな……とも言いたげな笑い方だった。

そぐせに頭に血が上った俺は、八百屋の胸ぐらを掴もうとした所でグラウンドの異変に気付いた。

そのまま走り続ければ一位 確実だつた秋良君が、戻ってきて智也に手を差し出していたのだ。

智也はその手を借りて立ち上ると、そのままゆっくり走りだした。そして皆が見守るなか、二人は一緒にゴールした。

グラウンドは割れんばかりの拍手に包まれた。

ふと隣を見れば、八百屋はバツが悪そうに顔をゆがめていた。

こいつに似ず、秋良君はなんていい子に育つたのだろう。

仕方ない。さつきの事は秋良君に免じて許してやるか。

怒りを収めた俺は、皆と同じように拍手をしながら息子達を迎えたのだつた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8626c/>

パパの心中～運動会～

2010年10月29日01時54分発行